

家畜ふん堆肥は、窒素、リン酸、加里といった多量要素だけでなく、鉄や亜鉛等の微量元素も含んでおり、作物に対して総合的な栄養分の供給源になります。

家畜ふん堆肥を活用して土づくりを進めましょう！

令和5年11月
東讃農業改良普及センター
東讃農業改良普及協議会

○家畜ふん堆肥の特徴

- 【牛ふん堆肥】 肥効は緩効的で、有機物は土壤中に残りやすい。そのため、土づくり効果が大きい。
- 【豚ふん堆肥】 牛ふんと鶏ふんの間隔的な性質を持ち、有機質肥料に近い肥効を期待できる。
- 【鶏ふん】 肥効が速効的で、窒素、リン酸、加里を多く含む。化学肥料に近い。堆肥の発酵が進むと、窒素成分が少なくなる。

畜種ごとの施用量の目安(10aあたり)

地目	作目	畜種ごとの施用量の目安 (10aあたり)			使用方法
		牛ふん	豚ふん	鶏ふん	
水田	水稲	1t又は2t/2年に1回	200kg	200kg	基肥として全層施肥 (牛ふんはオガクズ発酵牛ふん、豚ふん・鶏ふんは副資材無しの場合)
	麦	2t	200kg	200kg	

県内の地域別堆肥供給者一覧については下記からご覧いただけます。

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/chikusan/keiei/page2.html>